

令和6年6月 月例句会 会報・HP掲載句

兼題 五月雨、墓、当季雑詠

(投句順)

五月雨やポワロー冊読み終へる 城戸崎雅崇

五月雨や夕刊の音午後三時 中山 知祐

印旛沼水面の騒ぐ五月雨 森 邦彦

園児乗る自転車が行く五月雨 新谷 亮介

暗闇にのっそり蝦蟇や寺の池 石原 克己

一瞬の獲物捕る舌蟇蛙 佐藤 政百

眼の合ひし大蟇蛙たちろがず 安井 正浩

墓の油香具師の美声に聞きほれる 川田 勝美

竹伸びる孫には孫の思ひあり 眞田 宗興

以上